

学ぶこと、それは発見と感動の連続です！



SEKIO Association  
of Dentists

Since 1977

歯科医師石櫻会

平成27年度 総会 / 講演会

懇親会 (「櫻井滋先生の教授就任祝賀会」併催)

日時 平成27年6月20日 総会 / 講演会 午後5:30 ~ 7:30  
(土) 懇親会 午後7:30 ~ 9:00

会場 ホテルメトロポリタン盛岡 本館 4階

TEL 019-625-1211 / HP <http://www.metro-morioka.co.jp>

参加費 (懇親会費含) 歯科医師 7,000円 (歯科学生 3,000円)

### 講演内容



日常診療で拠り所になっている歯周病学の成書



初検査時

歯周治療後経過観察時

私の歯周治療  
米内正先生 (新18回生)

#### 【略歴】

- 1966 岩手高等学校卒業
- 1972 岩手医科大学歯学部卒業
- 1972 同大学助手 (歯科放射線学講座)
- 1975 田沢湖町立病院歯科医長
- 1978 盛岡市 (旧都南村) にて開業

(現在に至る)



睡眠と関連する診療と研究について  
櫻井滋先生 (新26回生) (岩手医科大学睡眠医療学科教授)

### 講演内容



近著：睡眠障害 知る診る治す



新型睡眠呼吸障害治療装置

#### 【略歴】

- 1974 岩手高等学校卒業
- 1981 金沢医科大学医学部卒業
- 1990 米国ワシントン大呼吸器部門研修
- 1991 金沢医科大学呼吸器治療室副部長
- 1994 岩手医科大学第三内科講師
- 2006 岩手医科大学感染症対策室長
- 2014 岩手医科大学睡眠医療学科教授

(現在に至る)



# 歯科医師石櫻会 平成27年度講演会

## 「私の歯周治療」

● 岩手県盛岡市 開業

米内 正 先生 (新18回生)

(よない・ただし)

私は岩手医科大学歯学部を卒業後、母校の歯科放射線講座に入局し、歯科放射線診断学を学び、その後開業医と秋田県田沢湖町立病院に勤務したのち、盛岡市(旧都南村)に歯科医院を開業しました。

それ故、私は歯周疾患について専門的な教育を受けたこともなく、歯周疾患の患者さんに再生療法等の最先端治療を行ったこともありませんでした。

ただ、自分の診療室の大部分を占める成人の患者さんを治療する際に、歯周疾患は何をするにも、まずクリアしなければならぬ壁であった。

歯周治療の基本的なことをなんとかクリアしようと必死になって取り組んできたことは事実です。

そのために歯科治療の本場アメリカ・ボストンでのセミナー参加や著名歯科医の診療室の見学をしたこともありますし、また数々の講演会に出席して見ましたが、講演内容が消化不良で、自分の治療にはあまり役立ちませんでした。

ただ、アメリカでのセミナーは本場の歯科治療を肌で感じることができ、たいへんよい経験をしたと思っております。そこで私は頭を切り替えて著名な書籍から知識を得ることにしました(下記の主な参考文献参照)。

これらの書籍はすばらしい内容で、歯周疾患を学ぶには一度目を通す必要があると思います。

私たち開業医の大半は保険診療医であり、それで経営を成り立たせていることは事実であり、収入源である補綴治療を行うにもまず歯周組織を健全にすることが大前提です。

そこで、私は開業当初より歯科保険診療のルールに則って診療を行っておりました。

常に患者さんの立場に立った説明を心がけていたが、口頭だけでは治療内容が十分に伝わりにくいと感じていました。

2000年に歯周疾患を効率的に、しかも永続性のある治療するため、患者啓蒙ソフトを導入し、臨床に応用しました。このソフトは患者個々のデータを保存することができ、しかも診療の術前、術後の比較が瞬時に出来る特徴を持っています。

今回はこのデータベースソフトを利用して診療をシステム化し、成果をあげている症例を発表いたします。

### 主な参考文献

- 1) ライチャーック: カラーアトラス歯周病学 …… 医学書院, 東京 (初版)
- 2) グリックマン: 臨床歯周病学 …… 永末書店, 東京 (第6版)
- 3) リンデ: 臨床歯周病学 …… 医歯薬出版, 東京 (初版)

## 「睡眠に関連する診療と研究について」

● 岩手医科大学医学部睡眠医療学科 教授

櫻井 滋 先生 (新26回生)

(さくらい・しげる)

睡眠は人生の3分の1とされ、睡眠不足が様々な健康障害を引き起こすことが知られている。しかし、睡眠を臨床医学の一分野として位置づけ、専らの診療対象とする医療施設は少ない。したがって、標榜科としては認められず、精神科、内科などの各科による薬物療法と、主として睡眠中の「症候の改善」を目的とする診療を行う耳鼻咽喉科、歯科などがある。近年、睡眠に関連する健康障害は独立した診断分類に基づき診断され、幾つかの病態は原因が判明し、介入方法が確立されつつある。岩手医大は全国でも稀な「睡眠医療学科」の設置を通じ、睡眠関連医療の普及と啓発、さらに診療に関する研究を行っている。本講演では、その現状を紹介し、会員諸兄の日常診療の参考としていただくこととしたい。

内容として、1) 睡眠学と睡眠医療、2) 全国の睡眠に関する研究室・講座、3) 睡眠関連疾患の国際分類(ICSD-3)、4) 睡眠関連呼吸障害と不眠、5) 睡眠と歯科医学との関連、などに関する解説を予定している。1) 近代的な睡眠学の発展は睡眠脳波の研究過程で、AserinskyとKleitmanによるレム睡眠が発見されたことによるところが大きい。2) 九州大学、滋賀医大、京都大学、愛知医大など、全国の大学に睡眠医療や研究を目的とする部署が設置されている。3) 2014年に最新の国際診断分類が米国で公表され、不眠症では、原発性と続発性の概念が取り除かれ、閉塞性睡眠時無呼吸症候群は閉塞性睡眠時無呼吸障害という概念に再分類された。国際疾病分類との連携が強調され、今後はこの国際分類が徐々に一般化する。4) 睡眠関連呼吸障害は不眠を伴うことがあり、昼間の眠気と夜の不眠という、相反する症候を有する障害(Disorder)である。5) 歯科医学は様々な睡眠関連疾患の診療に大きく貢献しており、岩手医大においても、今後さらなる連携体制が構築されつつある。

### 主な著書と論文

- 1) 睡眠障害 一知る診る治す …… メジカルビュー社, 東京 (2014)
- 2) らくらくわかる感染対策の教科書 …… メディカ出版, 東京 (2013)
- 3) Effects of CPAP Treatment …… Prehospital & disaster medicine.28:547-555 (2013)
- 4) Low Plasma Orexin-A Levels were Improved by …… Chest.127: 731-737 (2005)
- 5) Clinical significance of daytime plasma orexin …… Respiration. 71: 380-384 (2004)